

AI・HALL (JR伊丹駅前)

1998年4月18日(土) PM7:00

19日(日) PM3:00

伊丹想流私塾第2期生公演

『明日来るひとびと』

—七つめの椅子—

『明日来るひとびと』

—七つめの椅子—について

北村想

伊丹想流私塾第二期生の、卒業課題は、椅子をつかった10分以内、登場人物が三人までの戯曲作品の上演であります。

ここで『明日来るひとびと』というメイン・タイトルと『七つめの椅子』というテーマタイトルについての若干の解説をしておきます。

『明日来るひとびと』は、塾長である私が敬愛する映画監督の川島雄三さんの作品で『あした来る人』

(1955年、日活)からのいただきであります。この映画では、最後にタイトルを説明するようなモノローグが入ります。「〇〇も〇〇もまだまだ未熟だ。しかし彼らは必ず明日帰ってくるひとたちだ」でな具合です。『七つめの椅子』はどっからのいただきかといいますが(もう、バクリばかりでんな)C・V・オールズバークの絵本『ハリス・パーディックの謎』からであります。この絵本は、実際に読み手の想像力をくすぐる本でして、タイトルとキャプションがちょっと書かれているだけで、あと、思わせぶりなその絵が描かれています。

ちなみに本歌は『七つの椅子』で、キャプションは「五つめは結局フランスでみつかった」だけあります。で、教会の僧侶が見守る中、空中を椅子に乗った修道士が描かれています。この絵本、つれあいからプレゼントされたんですが、いたく気に入っております。版元は河出書房新社です。絶版になっているかもわかりませんが、絵本のコーナーでさがしてみてください。

というわけで、今期は、椅子を使った戯曲というのを課題にしてみました。

ですから、どの戯曲にも、どういカチでか、椅子が登場してこなければなりません。また、その椅子が、何かメタファーでもいいんですが、話のポイントになっていなければなりません。ですから、今期は戯作ということになります。

さて、未だ未熟ではあるが、必ず

明日帰ってくるであろうひとびと

よ、塾長の挑戦に果敢に

立ち上がってペンを

とりたまえ。



塾長●北村想 (プロジェクト・ナビ)

総合演出●深津篤史 (桃国会)

演出●深津篤史/岩崎正裕 (199Q太陽族)/川田陽子/なべか・まど/高橋いづみ/森本真裕美

上演課題作品●『七つめの椅子』

作●伊丹想流私塾第2期生 = 福山訓央/海沼静/福山玲子/山東寿海/高橋和希

なべか・まど/月山ケイ/フジヤマヒヨコ/益田桂子/森本真裕美

出演●桃国会/199Q太陽族/ほか

スタッフ●照明・音響・舞台 = (株) エスエフシー

料金●前売・当日共=1000円

主催●伊丹市/(財)伊丹市文化振興財団

問い合わせ・取扱●AI・HALL:0727-82-2000

想流私塾とは

- ・そりゆうしじゅくと読みます。
 - ・戯曲の書き方を学問する塾です。
 - ・戯曲というのは、演劇の台本のことだと思って、まず間違いはありません。
 - ・戯曲は、文学ですが、眉間に皺をよせて、原稿用紙に向かってウンウン唸るほどのものではありません。
 - ・隠りはしませんが、頭は使います。
 - ・頭は使いますが、入試、就職には、まったく役にたちません。
 - ・役にたつとすれば、知的な人生のひまつぶしにはなるようです。
 - ・ともかく、一年つづけると、何だか知らない間に、戯曲が書けるようになります。
 - ・自分のコトバが表現された作品として残るのは、けっこう面白いと評判です。
 - ・私たちは、真摯な遊び心のある、あなたを待っています。
- ・・・北村想

伊丹 想 流 私 塾

第3期生 募集

AI・HALL

- 【塾名】伊丹想流私塾（いたみ・そりゆうしじゅく）と称する
【講師】塾長：北村想（プロジェクト・ナビ）／師範：深津篤史（桃園会）／岩崎正裕（199Q太陽族）
【期間】98年5月よりおよそ1年、修了時に卒業公演あり。
【資格】男女問わず、国籍問わず（ただし日本語のできるもの）。
年齢もこの際、問わないことにする。また現在どこかの劇団に所属している者も、入塾を認める。
何処に住んでいてもよいが塾所在地（伊丹）に通えることを条件とする。
【募集人員】10人程度
【学費】年間78,000円 前期後期に分けて納入
【応募方法】所定の応募用紙（アイホールまで要請求）に必要な事項を記入のうえ、1200字以内のエッセイ（テーマ「身辺雑記」できるだけワープロでA4サイズ）を添え、80円切手を貼った返信用封筒を同封の上、AI・HALLまで郵送すべし。（応募書類は返却しません）
【審査】塾長以下講師陣が選考。一次審査は書類、二次審査は面接による。
【書類締切】4月6日（月）消印有効
【二次審査】4月29日（水・祝）一次合格者のみ
【開講】第1回講義・5月31日（日）PM6:00
原則的に月2回、隔週月曜日PM7:00～9:30
（ただし卒業公演製作時には上記の限りではありません）
【宛先】〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
AI・HALL伊丹想流私塾係
【問い合わせ】TEL:0727-82-2000
【主催】（財）伊丹市文化振興財団